

山手学区まちづくり推進委員会

委員長 藤井 昌光

（問合せ先） 084-951-9381（山手交流館）

事業内容

- (1) ふれあいいいきいきサロン
- (2) 山手子ども文庫
- (3) 山手学区交流事業



《子ども講座》うどん作り

- (4) 合同レクリエーション
- (5) 文化財先進地視察研修事業
- (6) コミュニティ育成事業
- (7) 地域の環境づくり活動事業
- (8) 城西校区人権学習講座
- (9) 山手学区避難・防災訓練
- (10) まちづくり推進委員会運営事業

- お茶会・健康教室・交流（通年 山手公民館 506人）
- （通年 山手小学校 325人）
- 1. 夏まつり大会（中止）
- 2. 親睦グラウンドゴルフ大会（7月24日 山手小学校グラウンド 93人）
- 3. 教養講座（多肉植物の寄せ植え・コンテナガーデン・リボンレイ・ちぎり絵・キムチづくり・スマートフォン講座・フラワーアレンジメント 通年/年7回 山手公民館 79人）
- 4. 子ども講座（うどん作り・ケーキ作り・消しゴムハンコ 11～1月 山手公民館 47人）
- 中止
- （9月25日 香川方面 45人）
- 1. ゴミ分別啓発・納税推進（通年 山手学区町内会 ほか）
- 2. 世代間交流[1]山手南町内会：中止
- 3. 世代間交流[2]山手町江良坊町内会：中止
- （通年 山手学区町内会 1,630人）
- 溝用水路一斉清掃・小田一斉清掃・公民館周辺美化活動
- （9月24日 山手小学校 105人）
- であいつながり 差別解消をめざす北芝のまちづくり～誰もが安心して住み続けられるまちへ～
- （11月27日 山手小学校体育館・グラウンド 286人）
- （通年 山手公民館 役員16人）

成果

コロナ感染者数の多い期間は事業を自粛したが、昨年よりは自粛の期間が少なく、人と人の集う機会を増やすことができた。交流事業に参加した人同士の会話や表情から活気を感じることができた。開催予定時期に感染者が急増した時には時期や内容を変更して対応した。

また、情報発信のための取組やデジタル化に対応するためパソコンを購入し活用準備を整えた。

課題

大きな事業はまだまだコロナ感染に不安を感じる人も多い。顔馴染みの参加者が多く、繰り返し参加したくなる居場所となっているが、新規の人でも参加したくなるような内容や取組を検討する。

課題解決にむけて

安心して参加できる事業内容を検討するとともに、地域の幅広い世帯の方がイベント情報を得られるよう、今年度購入したパソコンを活用するなどして回覧板以外でも情報発信できるように取り組む。

おうち時間を癒し時間に

山手学区交流事業

教養講座

長く続くコロナ禍で自宅にいる時間が多い中『心を癒す』植物を扱う講座を実施し、家庭に持ち帰り楽しんでもらえるよう考えました。

持ち帰った後の手入れの仕方を講師の先生に指導してもらい、受講者は熱心に聞いて帰っていました。



4月22日 多肉植物の寄せ植え
可愛い鉢にピンセットで植え付け



5月22日 コンテナガーデン
夏に向けての花木を寄せ植え



3月4日 フラワーアレンジメント
講師の先生の楽しいトークとともに



5月22日 コンテナガーデン
背が伸びる植物のバランスを考えて